

令和5年度 国民体育大会

福岡県代表選手選考に関する基準について

令和5年7月4日

目次

1	福岡陸上競技協会	P1
2-1	一般社団法人福岡県水泳連盟（競泳）	P1
2-2	一般社団法人福岡県水泳連盟（飛込）	P1
2-3	一般社団法人福岡県水泳連盟（水球）	P2
2-4	一般社団法人福岡県水泳連盟（A S）	P2
2-5	一般社団法人福岡県水泳連盟（オープンウォーター）	P2
3	公益財団法人福岡県サッカー協会	P3
4	福岡県テニス協会	P3～4
5	福岡県ボート協会	P4
6	福岡県ホッケー協会	P4～5
7	福岡県ボクシング連盟	P5
8	(一財)福岡県バレーボール協会	P5
9	福岡県体操協会	P5～6
10	福岡県バスケットボール協会	P6
11	福岡県レスリング協会	P6
12	福岡県セーリング連盟	P6～7
13	福岡県ウエイトリフティング協会	P7
14	福岡県ハンドボール協会	P7～8
15	福岡県自転車競技連盟	P8
16	福岡県ソフトテニス連盟	P8
17	福岡県卓球協会	P9
18	一般社団法人福岡県軟式野球連盟	P9
19	福岡県相撲連盟	P9
20	福岡県馬術連盟	P10
21	福岡県フェンシング協会	P10
22	福岡県柔道協会	P10
23	一般社団法人福岡県ソフトボール協会	P11
24	福岡県バドミントン協会	P11
25	福岡県弓道連盟	P12
26	福岡県ライフル射撃協会	P12
27	公益社団法人福岡県剣道連盟	P12～13
28	(一社)福岡県ラグビーフットボール協会	P13～14
29	福岡県山岳・スポーツクライミング連盟	P14

3 0	福岡県カヌー協会	P 1 4～1 5
3 1	福岡県アーチェリー協会	P 1 5
3 2	福岡県空手道連盟	P 1 5～1 7
3 3	福岡県銃剣道連盟	P 1 8
3 4	福岡県なぎなた連盟	P 1 8
3 5	福岡県ボウリング連盟	P 1 8
3 6	福岡県ゴルフ協会	P 1 8
3 7	福岡県トライアスロン連合	P 1 9
3 8 - 1	福岡県スケート連盟（フィギュア）	P 1 9
3 8 - 2	福岡県スケート連盟（スピード）	P 1 9～2 0
3 9	福岡県アイスホッケー連盟	P 2 0
4 0	福岡県スキー連盟	P 2 0

令和5年度国民体育大会における選手選考基準について

1 【 福岡陸上競技協会 】

項目	内 容
選考方法	福岡陸上競技協会に登録者及び「ふるさと選手制度」を利用できる者を対象に福岡県の「国体選考会」と銘打った競技会に出場(当該種目)している者の中から選考する。特に成年は、国体出場の意思確認のため「国体最終選考会」にエントリーしていること。(※日本陸上競技連盟から当該年度の都道府県予選会免除を受けた者を除く。)
選考基準	選考対象となる国体選考会へ出場し、日本選手権や全国高校総体、全国中学総体などの主要大会における実績および当該年度最高記録等を参考に選考する。(日本陸上競技連盟から当該年度の都道府県予選会免除を受けた者については国体選考会に出場および申し込みをしていなくても、日本選手権および今年度ランキングで選考する場合がある。)
選考内容	成年男女及び少年男女の全選手を合わせて29名選考する。 他県の選手の状況も勘案し、入賞の可能性が高い者を選考する。その際、複数の実績を参考に慎重に選考する。
担当者	強化部長 小野原 英樹

2-1 【 一般社団法人 福岡県水泳連盟(競泳) 】

項目	内 容
選考方法	・選考日～7月末日(例年通りで行くと県中学終了後) に国体選手選考委員会(競泳委員で選考し理事会で承認を得る)を開く
選考基準	・該当種目における国体参加標準記録を突破し参加の意思がある選手(申請する)で、尚且つ、その種目における当年度の県内最高記録を保持する者を選考する
選考内容	・上記の基準を満たした選手で、参加種目が多くなる場合は、選手と指導者の意思を尊重し、次点の選手を専攻する場合もある。 ・リレー要因は参加定員を勘案した上で選考する
担当者名	古賀 啓士

2-2 【 一般社団法人 福岡県水泳連盟(飛込) 】

項目	内 容
選考方法	(少年男女)全国JOCジュニアオリンピック夏季大会および全九州高等学校体育大会の結果にて選考。 (成年男女)関西選手権または関東選手権の結果にて選考。
選考基準	(少年・成年男女)日本水泳連盟が定めた標準点を突破した者。
選考内容	(少年・成年男女)上記大会で標準点を突破した者のうち、各区分で一番達成率の高い者を選出。
担当者名	竹川 広子

2-3 【 一般社団法人 福岡県水泳連盟(水球) 】

項目	内 容
選考方法	①福岡県水球委員会強化部において、代表候補選手案を選考する。 ②上記案に基づき、水球委員会において、代表候補選手を選考する。 水球委員会における選考は、満場一致を原則とするが、委員の意見が分かれた場合は、多数決をもって決する。
選考基準	①福岡県代表選手団は、礼儀を尊び規律を尊守し、活力ある福岡県を代表するにふさわしく、かつ参加各県との友好と親善に寄与できる選手・役員をもって編成する。 ②選手個人の能力だけでは判断せず、チームへの貢献度、他の選手との協調性や調整能力等、チームとしての最大のパフォーマンスを発揮できるという視点から総合的に判断する。
選考内容	福岡県水球委員会における代表選考は、選考の当年度又は前年度に開催された、大会等における各選手のパフォーマンスを参考に選考する。
担当者名	西山 力

2-3 【 一般社団法人 福岡県水泳連盟(AS) 】

項目	内 容
選考方法	テクニカルルーティン通し
選考基準	上位2名 3位の選手は予備登録
選考内容	高さ・脚質 エレメント単体の得点 テクニカルルーティンとしてのプレゼンテーション
担当者名	竹本 奈緒

2-4 【 一般社団法人 福岡県水泳連盟(オープンウォーター) 】

項目	内 容
選考方法	(一社)福岡県水泳連盟選考方法(競泳競技に準ずる)
選考基準	(一社)福岡県水泳連盟選考基準(競泳競技に準ずる)及び(財団)日本水泳連盟選考基準に基づく。
選考内容	同上
その他	(財団)日本水連公認OWS全日本大会入賞順位及び日本代表選手としての大会出場順位を考慮する。
担当者名	中村 和彦

3 【 公益社団法人福岡県サッカー協会 】

項目	内 容
選考方法	<p>【少年男子・女子】既存の選手強化育成システム(福岡県ナショナルトレーニングセンター:以下トレセン)において、U-11~U-15 を経て育成してきた選手をベースに、クラブ、高体連サッカーチームに4月より入部した県外選手、早生まれ選手も選考会を実施し国体スタッフが選手選考を行いチーム編成。選考期間は3月から6月(エントリー締め切り)。</p> <p>【成年男子】大学委員会(連盟)においてチームを編成。各大学より有望な選手を推薦してもらい選抜チームを編成することが基本であるが、状況により単独チームで大会に臨むこともある。</p> <p>【成年女子】調整中</p>
選考基準	<ul style="list-style-type: none"> ・戦術の決定、チーム編成に関しては監督を中心にスタッフに委ねられており、選考会、練習会を経て、優れた個人技能を有しており、かつチームの戦術等を理解してプレーでき、そして県の代表として立ち振る舞える選手を選考する。 ・技術委員長を中心に種別担当者が都度状況、進捗を把握し、チーム編成の最終決定は技術委員会にて行われる。
選考内容	トレーニングおよびテストマッチを中心に選手のパフォーマンスを判断。優れた個の能力だけでなく、チームコンセプトにマッチするかどうかもポイントとなる。
担当者名	事務局長 山口 廣司

4 【 福岡県テニス協会 】

(成年男女)

項目	内 容
選考方法	・選考対象大会(福岡県テニス選手権大会)実施
選考基準	・上記大会の上位者を候補選手とし、選考委員会で最終決定する。 但し、別途最終選考会を行う場合がある。
選考内容	・国体選手2名について、選考対象大会の上位から2名を選考している状況。
担当者名	強化委員長 帆足 政穂

(少年男女)

項目	内 容
選考方法	(第一次選考)福岡県高等学校総合体育大会テニス選手権大会(県高体連主催) (最終選考)国民体育大会代表最終選考会(県テニス協会主催) ただし、選考対象の選手が全て第一次選考に参加の場合は、最終選考を行わない。

選考基準	(第一次選考)個人戦シングルスの優勝者、準優勝者を代表候補とする。 (最終選考)第一次選考の2名と同年度の九州ジュニアテニス選手権福岡県予選U18 ベスト 4、および福岡県テニス協会ジュニア委員会が推薦する選手(高体連所属以外の U18 選手、U15 以下の選手を含む)とで選考会を行い、その結果に基づき選考委員会で決定する。 ただし、選考対象の選手が全て第一次選考に参加している場合は、第一次選考の結果に基づき選考委員会で決定する。
選考内容	第一次選考で決まる場合は個人戦シングルス優勝者、準優勝者が代表として選考されている状況。 最終選考が行われる場合は、最終選考会の結果に基づき、上位2名が代表として選考されることを原則とする。
担当者名	ジュニア委員長 那須 健児

5 【 福岡県ボート協会 】

項目	内 容
選考方法	レース形式
選考基準	県予選の着順で選考(男子成年スカル種目以外は1着を代表とする)
選考内容	県予選において成年男子スカル種目はシングルスカルで、それ以外の種目はブロック開催種目でのレースを行い、1着をブロック大会に派遣する。ストレート種目の男子ダブルスカルはシングルスカル2着、3着も含めた候補から上位2名を本団体の代表選手とする。
その他	エリートアカデミー、日本代表候補等の高い競技力を有する選手については、県予選を免除する。
担当者名	宮口 隆嗣

6 【 福岡県ホッケー協会 】

項目	内 容
選考方法	<ul style="list-style-type: none"> ・成年、少年種別ともに参加希望を募り、参加希望者が国民体育大会の登録人数を超えた場合のみ、選考会を実施する。 ・選考会は、合同練習会等(強化遠征・合宿を含む)を実施し、選考委員会により協会長へ推薦し理事会で決定する。 ・選考委員会は、理事会にて、理事会メンバーから選出する。(理事・審判長・高体連担当・強化事業担当・各種別の監督等)
選考基準	<ul style="list-style-type: none"> ・国民体育大会出場資格を有している選手であること。 ・同上大会への出場を希望している選手であること。
選考内容	<p>国体スタッフが考えるゲームモデルを念頭に、個々の特徴を勘案し以下の要素を総合的に評価して決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① スキルに秀でている者。(テクニカル・タクティカル・フィジカル) ② 過去の実績や成績 ③ チームプレイやリーダーシップ・フォロアーシップ能力 ④ 練習やトレーニングへの積極的な取組や熱意

	※ふるさと選手は所属チームでの実績と選手個人の意欲。強化練習会や強化合宿 などへの参加後に選考。
その他	・選考結果に対する疑義があった場合は、理事会に窓口を設け、当該者の理解が得られるように、誠意を以て、具体的かつ明確な説明に努める。
担当者名	山内 光春(福岡県ホッケー協会 選手強化委員長)

7 【 福岡県ボクシング連盟 】

項目	内 容
選考方法	少年:県大会及び九州大会の試合内容、判定内容から選出し選考会を行う 成年:前年度の実績及びリーグ戦の結果により選考会を行う
選考基準	少年:県大会に出場した選手(国体開催年度の県大会出場) 成年:国体選考会前にスパーリングを実施、実力を見極めて選考会に進むこととする
選考内容	選考会及び県連盟が推薦した選手により決定
その他	少年及び成年選手の面接(コンプライアンス違反など)
担当者名	松隈 圭造

8 【 (一財)福岡県バレーボール協会 】

項目	内 容
選考方法	大会視察による選考 少年:インターハイ予選を最終選考大会として選考 成年:クラブカテゴリーの大会、大学リーグ等の大会から選考
選考基準	個人能力 チームプレー フェアプレー等 総合的に判断
選考内容	実践の試合における視察
その他	ポジションやチームの雰囲気づくり等を考慮し選考する
担当者名	西濱 貴也

9 【 福岡県体操協会 】

項目	内 容
選考方法	・5月開催の福岡県選手権大会兼国体予選会 ・全日本選手権 ・NHK杯体操競技選手権大会
選考基準	・福岡県選手権大会での成績上位者 ・福岡県選手権大会以外の上位大会での成績

選考内容	・選考委員会により代表選手、予備登録選手を選考
担当者名	奥畠 博幸

10 【 福岡県バスケットボール協会 】

項目	内 容
選考方法	成年の部については各種別大会を参考に選考会議を行い決定する。 少年部については県総体を参考に書類選考を行い、その後に選考会を実施。 ※選考会にやむをえない理由で参加できなかった選手については、選考対象とする。
選考基準	【成年の部】国体参加資格を有する選手(高校2年「高校2年早生まれは省く」・高校3年生も含む) 【少年の部】U15・U16(中学3年・高校1年・高校2年早生まれ)で国体参加資格を有する選手
選考内容	選考会:ゲーム形式
担当者名	大上 晴司

11 【 福岡県レスリング協会 】

項目	内 容
選考方法	県予選大会を実施する。
選考基準	原則として県予選大会で1位となった選手を正選手とする。
選考内容	レスリング フリースタイル 階級別選考
担当者名	杉本 京介

12 【 福岡県セーリング連盟 】

項目	内 容
選考方法	成年:①前年度までの全国規模の大会実績をもとに、候補となりうる選手を国体委員会 強化部より選抜(ふるさと選手含む)する。 ②7月から8月にかけて2日間の日程で実施する強化選手選考会にて最終選考を行う。 少年:①5月の大型連休期間に実施される九州規模以上の大会及び6月のインターハイ九州水域予選の大会を選考指定大会とし、ポイントを与え一次選考を実施する。 ②成年同様、2日間の強化選手選考会にて最終選考を行う。
選考基準	選考会のみでの選手選考ではなく、前年度までの国体成績及び九州・全国規模の大会戦績を総合的に考慮し、本国体においてより上位入賞の可能性の高い代表選手を選考する。
選考内容	①九州水域または全国規模の大会等での直近2年間の大会成績を選考材料とす

	<p>る。</p> <p>②少年種別における中学3年生の候補については、前年度から5月までの全国規模での大会成績を九州地区予選と比較してポイント化し、少年種別での選考に含める。</p> <p>③ふるさと選手の積極的活用を行うとともに、「チーム福岡」の一員として国体上位入賞に向けて取り組む強い意志と熱意をもつ選手を選考する。</p>
その他	<p>①当該年度の日本セーリング連盟の会員登録を行い、かつ各種目において必要なバッジテスト資格を有するものであること。</p> <p>②強化選手選考会で最上位となった者が、本国体代表選手になるとは限らない場合がある。</p> <p>③少年種別の選考ポイントについては、6月第1週目までに選手へ周知する。</p>
担当者名	立石 欣也

13【福岡県ウエイトリフティング協会】

項目	内 容
選考方法	福岡県国体選考会後、直ちに理事会を開催し出場者を選考する。
選考基準	<p>○成年男子：福岡県国体選考会に出場し、選考会、九州ブロック大会等の結果を国民体育大会の過去の記録と比較して、上位の者を選考する。</p> <p>○少年男子：福岡県国体選考会に出場し、全国高校総体のスナッチ、ジャークの結果で上位の者を選考する。全国高校総体に出場していない選手については福岡県国体選考会の記録を全国高校総体の結果に当てはめる。</p>
選考内容	<p>○成年男子：福岡県国体選考会及び九州ブロック大会の結果を参考に出場選手を選考する。</p> <p>○女子：福岡県国体選考会の結果を日本協会に送り、国体出場申込者の中で15位以内に入れば出場決定。</p> <p>○少年男子：福岡県国体選考会及び全国高校総体の結果を参考に出場選手を選考する。</p>
担当者名	福田 登美男

14【福岡県ハンドボール協会】

項目	内 容
選考方法	<p><成年男女></p> <p>国体県予選での優勝チームを中心に、優勝チームの監督が役員(コーチングスタッフ)と候補選手20名程度を選出する。</p>
選考基準	<p><成年男女></p> <p>原則として、国体予選に出場していること。但し、ふるさと選手に関しては、監督・役員が協議し決定する。</p>
選考内容	<p><成年男女></p> <p>最終選考(12名)するまで、ポジション構成や能力を検討する。</p>
担当者名	強化部長 安永 剛(香住丘高校勤務)

項目	内 容
選考方法	<少年男女> 1 次選考…前年度の九州選抜大会福岡県予選大会(新人大会)でベスト8以上(ベンチ登録メンバー)の選手を福岡県ハンドボール協会強化部に推薦する。 2 次選考…当該年度高校総体福岡県予選大会(兼国体予選)の優勝チーム監督は、優勝チームを主としたチーム編成(12名+リザーブ)を行い福岡県ハンドボール協会強化部へ推薦し、強化部長は定例理事会で議案として提案する。 ※但し、ベスト8以下の選手でも、戦局を変える能力を持った選手を選考する場合がある。
選考基準	<少年男女> 当該年度高校総体福岡県予選大会(兼国体予選)の優勝チーム監督は、優勝チームを主としたチーム編成(12名+リザーブ)
選考内容	<少年男女> 最終選考(12名)するまで、ポジション構成や能力を検討する。※但し、ベスト8以下の選手でも、戦局を変える能力を持った選手を選考する場合がある。
担当者名	強化部長 安永 剛(香住丘高校勤務)

15【福岡県自転車競技連盟】

項目	内 容
選考方法	連盟の選考委員会(常任理事会及び強化スタッフ)で選考をする
選考基準	1km/200m タイムトライアルの選考基準がクリアできなければ選考されない
選考内容	福岡県選手権大会、九州地域選手権、大学選手権などの個人実績を重視、連盟主催の合宿などのトータル成績で、選考する
その他	チームスプリント又はチームパーシュートを走れる選手を優先する
担当者名	事務局 月成 憲一

16【福岡県ソフトテニス連盟】

項目	内 容
選考方法	国体一次予選会で8組を選考する。二次予選でリーグ戦を行い上位5組が最終選考会に進む、最終選考会でリーグを行い1位は国体選手に決定。
選考基準	最終選考会で1位は国体選手として決定。他の選手は他の大会や練習を重ねて強化委員会が推薦して常任理事会で決定する。
選考内容	成年男女は1次、2次、最終選考会で1位が決定。少年男女は1次と最終選考会で1位が決定。
担当者名	長野 廣充

17 【 福岡県卓球協会 】

項目	内 容
選考方法	県予選会(1次・2次)を実施し決定する。
選考基準	少年:1次予選会免除者とインターハイ県予選上位4名、1次予選ベスト4の9名で 2次予選を実施し代表3名を決定。 (免除条件 インターハイベスト 16・全日本ジュニアベスト 8 全日本一般ベスト 64)
選考内容	成年:予選会ベスト8と1次予選免除者9名で2次予選を実施し、代表 3名を決定 する。 (免除条件 全日本一般ベスト 64・全日本社会人ベスト 16 全日本学生ベスト 16)
担当者名	御座岡 充子

18 【 一般社団法人福岡県軟式野球連盟 】

項目	内 容
選考方法	福岡県下 23 支部予選を経て県大会優勝チームを確定 確定後の優勝チームを基準にし、他のチームより選手を補強することでより良いチ ーム構成をおこなう。
選考基準	
選考内容	
担当者名	中村 敏治

19 【 福岡県相撲連盟 】

項目	内 容
選考方法	①国民体育大会選考会(6月実施予定) ②定期合同練習会(強化選手参加) ③試合結果参考
選考基準	①選考会結果 ②選考会後の合同練習会での参加頻度、意欲、実力 ③シーズン中の試合結果を参考
選考内容	6月に選考会を開催、定期的に練習会や合宿を実施し、トータル的に練習会での 内容、実力、その過程での試合結果などで総合的に評価していく。具体的に少年 男子は、高体連主催大会や協会主催大会の成績や、練習会などの成長の過程を しっかり計画的に予測し、本国体に実力のピーク発揮でき選手を継続して見届けな がら選考していく。また、成年男子については、インカレやふるさと選手として活躍し ている選手の大会における実績も考慮して選考していく。
担当者名	渡邊 祐二

20 【 福岡県馬術連盟 】

項目	内 容
選考方法	理事会において協議。協議の結果によっては予選会の実施。
選考基準	全国大会、県内外競技会等での実績。全国レベルの競技会経験が高い人馬。
選考内容	馬場馬術競技 成年 セントジョージ賞典馬場馬術課目 少年 ジュニアライダー個人 障害飛越競技 少年団体 貸与馬戦 個人 各競技のレベルに応じて
担当者名	重松 典子

21 【 福岡県フェンシング協会 】

項目	内 容
選考方法	成年男子、成年女子 選考試合を実施。(但し、監督兼選手については、公認コーチ資格保有者)フルーレ及びエペ又はフルーレ及びサーブルの2種目の選考試合を実施。成績上位者から選出。
選考基準	少年男子、少年女子 選考試合を実施。(一次、最終)フルーレでの選考試合を2回実施し、順位に応じた点数を設定し、合計得点上位者から選出
選考内容	
担当者名	金丸 文行

22 【 福岡県柔道協会 】

項目	内 容
選考方法	一次選考:過去の大会の成績等から福岡県強化選手として、強化委員会により指定。 二次選考:福岡県強化選手の中から、各大会の成績を考慮し、国体候補選手として強化委員会により指定。 最終選考:国体候補選手とふるさと選手の中から成年男子5名、女子5名、少年男子5名を福岡県柔道協会より指定。
選考基準	強化練習、各大会の成績等を総合的に勘案し、上位入賞を期待できる選手を選考。
選考内容	一次選考:過去の大会の成績等をもとに強化委員会の協議にて選考。 二次選考:各大会の成績をもとに強化委員会の協議にて選考。 最終選考:国体候補選手とふるさと選手の中から福岡県柔道協会と強化委員会により選考。
その他	ふるさと選手の選考は、全国規模の大会で活躍している選手を選考。
担当者名	高崎 新一

23 【 一般社団法人 福岡県ソフトボール協会 】

項目	内 容
選考方法	<ul style="list-style-type: none"> ・成年男子:選考大会にての上位チームを主体とし、そこに有力選手を集め選考。 ・成年女子:女子リーグを主体とし、そこに有力選手を集める。 ・少年男子:選考大会にて実施 ・少年女子:年間を通して選考会を実施
選考基準	<ul style="list-style-type: none"> ・監督、スタッフにおいては協会のガバナンス、コンプライアンスに則している事 ・チーム、選手においては総合成績も重要であるが、マナー、協調性も重視。
選考内容	<ul style="list-style-type: none"> ・選考会及び選考大会においての上位チーム、もしくは有力選手を強化指定選手として絞り込んでいく。
担当者名	本田 重徳

24 【 福岡県バドミントン協会 】

項目	内 容
選考方法	トーナメント戦の結果による選考
選考基準	<p>選考対象者は、原則として、シングルス及びダブルスの2位以上の選手とする。 (成年の部)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. シングルス1位の選手が含まれるダブルスが1位の場合 ⇒シングルス1位とそのパートナー(ダブルス1位の選手)とシングルス2位の選手とする。 補欠選手は協会で決定する。 2. ダブルス1位のいずれかの選手がシングルス2位の場合 ⇒ダブルス 1 位の選手とシングルス1、2位の選手とする。 補欠選手は県協会で決定する。 3. シングルス1位の選手が含まれるダブルスが2位の場合 ⇒シングルス1位の選手は決定し、シングルス2位、ダブルスの1位及び2位の選手の中から選手2名及び補欠選手を県協会で決定する。 4. 上記により選手が決定しない場合は県協会で決定する。 (少年の部) 少年の部は国体予選会及びインターハイ(個人戦)予選会の結果に基づき決定するものとし、選考の基準は成年の部と同様とする。 国体予選会において、中学生(3 年生)がシングルス4位、ダブルス2位以上の成績を納めた場合は、高校生の代表が決定した後に、中学生を含めて選考をおこない県協会で決定する。 但し、国体予選会及びインターハイ予選会の結果が異なった場合及び本国体までの期間、継続的な練習が出来ない等の申し出があった場合は、県協会で決定する。
選考内容	団体戦 選手3名 補欠1名
担当者名	宮崎 賢一

25 【 福岡県弓道連盟 】

【第一段階選抜】

項目	内 容
選考方法	1月、2月に国体強化選手の選考会2回を実施。 福岡県4地区から出場選手の推薦を得て出場者を決め、選考会を実施した。
選考基準	選考会は2回、近的8射、遠的8射の的中制で実施。 選考基準は的中に加えて射の安定性を評価し、審判委員の投票により強化選手を決定した。昨年度ブロックを好成績で突破し、本国体に進出した男女各3選手は、指導の連續性を考え強化選手とした
選考内容	強化選手として、男子6名、女子6名を選考した。 昨年に較べ早期に強化選手を選考し、早い時期から強化練習を開始した。また、人数を絞り、指導・強化が行き届くことを期待している。
担当者名	永富 聖徳

【第2段階選抜】

項目	内 容
選考方法	2月の強化選手男女各6名決定後、3月より強化練習を開始 開始より各人に修正課題を与えて強化調整期間として4月中旬までを計画。4月中旬より6月初旬までの状態(的中率、安定性、信憑性)を監視する。
選考基準	毎回強化練習開始時に的中記録を取り数値化、合わせて試合参加時の成績及び状態(保有能力 VS 実行能力)を監視。 数値化した記録と保有能力 VS 実行能力を総合的に鑑みて選手決定する。
選考内容	県連会長、監督、強化選手の選手リーダー男女の審議により決定 国体正選手として男女各3名 補欠として男女各1名 を6月中旬に決定する。
担当者名	永富 聖徳

26 【 福岡県ライフル射撃協会 】

項目	内 容
選考方法	県内予選会4、5、6、7月4回を基準に行う。
選考基準	4回の合計点にて決定
選考内容	上記に準ずる
その他	県外の公式大会の成績を加味する。
担当者名	磯部 俊雄

27 【 公益社団法人福岡県剣道連盟 】

項目	内 容
選考方法	【成年種別】令和5年4月16日(日)開催の国体・西日本各県対抗選手候補選考会 【少年種別】令和5年5月27日(土)～28日(日)開催の高校総体県予選会

選考基準	【成年種別】男子は先鋒～副将まで各枠 3 名の強化指定者を、女子は先鋒～大将まで各枠 3 名の指定者を決定する。大将枠 3 名については強化委員会の選考により指定者を決定。 【少年種別】予選会の結果を考慮し、男女共 7 名の指定強化選手を高体連と選手強化委員会との協議にて決定する。
選考内容	【成年種別】強化練成会、遠征合宿等の成績を考慮し、正選手男子 5 名、女子 3 名を決定。 【少年種別】遠征合宿及び強化練成会の実績により正選手男女各 5 名を決定
担当者名	事務局次長 豊田 明道

28 【(一社)福岡県ラグビーフットボール協会】

【成年男子】

項目	内 容
選考方法	～R4 年度 ・現有選手を軸に新人をリサーチし所属チームとの交渉を図る R5 年度～ ・県内の学生、クラブ、社会人全チームへオープン参加型の選考会を実施。走力測定やゲームを通じて試合メンバーを選出
選考基準	・福岡県代表の一員として約束やスケジュールを遵守できる ・自身のストロングポイントを理解できており、チームに貢献できるシナリオを持っている ・所属先の理解が得られており、選手自身も動態を調整できること
選考内容	・チームが求める戦術を理解していること(理解力) ・ブラッシュアップするための創意工夫ができること(発言力) ・常にチームの先頭に立とうとする意欲(リーダーシップ) ・チームや職場からの信頼(代表へ専念できる環境)
その他	県内の有力選手にふるさと選手を加えたメンバー編成で新しい一步を踏み出す年にしたいと思います。
担当者名	橋本 浩輔

【少年男子】

項目	内 容
選考方法	1次選考:少年男子69名を指定強化選手として指名 2次選考:国体登録選手23名、予備登録選手27名を国体候補選手として指名 最終選考:国体選手23名を指名
選考基準	公式大会、強化練習会の成績(評価)等を総合的に勘案し、本国体及び九州ブロック国体で上位入賞を期待できる選手を選考 【セレクションポリシー】 ・2 ポジションで活躍できるスキル、もしくは専門ポジションのスキルが突出している選手。(各ポジションに求められる高いスキルを身につけているか) ・ダブルアクション(ヒット+ドライブ、タックル+アップ&ロール、DF アップ+インサ

	<p>イドプッシュなど)ができる選手。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優れた判断力、コミュニケーション力を発揮できる選手。 <p>(ゲーム理解、リーダーシップ、オン・ザ・グラウンド/オフ・ザ・グラウンド)</p>
選考内容	<ul style="list-style-type: none"> ・4月～6月の公式試合でのパフォーマンスを強化スタッフで評価。 ・6月練習会(指定強化選手招集)のパフォーマンスを強化スタッフで評価。 ・7月の県外遠征を経て、ブロック国体メンバーの選考、決定。 ・8月のブロック国体のパフォーマンス等、強化スタッフで協議し、本国体選手決定。
その他	代表選考会(強化練習会)に日本代表、九州代表の活動、全国大会や九州大会と日程が重なる等で参加できない場合に関しては、大会等の実績も評価対象として選考する。また過去(昨年度)の競技力も加味して選考を行う。
担当者名	鬼木 勝治

【女子】

項目	内 容
選考方法	・選考スタッフによる視察及び県内クラブ代表者からの推薦
選考基準	・福岡県ラグビー協会女子選手育成強化の方向性を理解し、カテゴリーでの経験値を重ねた選手(国内トップリーグ太陽生命 WSS 本年度選手登録)をピックアップし、強化スコッド12名～15名を選出する。
選考内容	・上記基準によりピックアップされた選手の意志と所属先とのコンセンサス。
担当者名	徳田 謙介

29 【 福岡県山岳・スポーツクライミング連盟 】

項目	内 容
選考方法	・令和5年度福岡県国体予選会による。 成年の部:九州スポーツクライミングコンペティション2023(3月5, 19日) 少年の部:令和5年度福岡県国体予選・少年の部(5月21日)
選考基準	・上記大会で各種別上位2名を選考する。
選考内容	・国民体育大会スポーツクライミング競技規則集(令和5年3月)による。
その他	・大会については関係団体への文書及びHPにより周知する。
担当者名	山上 司

30 【 福岡県力士一協会 】

項目	内 容
選考方法	福岡県選手権大会にて選考 成年は、各種目の1位に九州ブロック大会の出場権を付与 少年種別は、シングルの上位から参加人数を選抜した上で各種目に振り分ける。
選考基準	原則、国体選考会の結果に基に、強化練習合宿・高校総体等を総合的に勘案し、九州ブロック大会で上位を期待できる選手を選考する

選考内容	成年は、県大会で各種目1位の選手を選考 少年は、県大会を1次選考とし、強化練習合宿及び九州総体の結果を基に最終選考
担当者名	福岡県カヌー協会 事務局 田中太嘉子

31 【 福岡県アーチェリー協会 】

項目	内 容
選考方法	・選考内容に記載している競技会により選考する。
選考基準	・選考内容に記載している競技会の結果成績をもとに、本国体及び九州ブロック大会での上位入賞を期待できる選手を選考
選考内容	<ul style="list-style-type: none"> ・少年男子、少年女子(中学3年生・高校生)については、2023年4月～6月中の(公社)全日本アーチェリー連盟公認大会により最終選考会出場選手を考慮する(少年男子、少年女子それぞれ6名) ・成年男子、成年女子については、前年度6月から当該年度5月までの(公社)全日本アーチェリー連盟公認大会において、成年男子500点以上、成年女子450点以上記録を持つ者に対し、2023年6月4日開催予定の2023年度福岡県成年男女国体1次選考会兼記録会に参加資格を与え、70mラウンド2回の合計得点で集計し、成年男女各6名に最終選考会出場の権利を与える。 ・前年度国体選手であった者は、成年少年男女問わず、最終選考会への出場権を有するものとする。 ・2023年7月2日開催予定の2023年度福岡県国体最終選考会にて成年男子、成年女子、少年男子、少年女子各カテゴリー3名を成績上位順に国体代表選手として決定し、かつ、最終選考会で選ばれた上位3人以外で各カテゴリー成績順に補欠選手として選考し、上位3名に正当な理由により国体選手としての活動ができないと福岡県アーチェリー協会強化部及び各カテゴリー国体監督が判断した場合、協議の上、成績上位補欠選手に国体代表選手としての権利を与える。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者は福岡県アーチェリー協会会員であること。また、2023年度の協会登録費を完納していること。 ・ふるさと選手に関しては、他都道府県連盟協会会員及び(一社)全日本学生アーチェリー連盟会員であっても福岡県選手として国体に出場することを認める。
担当者名	白附 亮

32 【 福岡県空手道連盟 】

項目	内 容
選考方法	別紙参照
選考基準	別紙参照
選考内容	別紙参照
担当者名	津田 祐二郎

1. 全九州選手権大会選手選考

1. 対象者 ① 当該年度の強化指定選手
② 上記①又は、各地区及び各会派から推薦された選手
2. 出場枠 個人種目 2 名・団体戦（少年 5 名・成年男子 5 名・女子 3 名）
組手 成年男子軽量級・成年男子中量級・成年男子重量級
成年女子・少年男子・少年女子
形 成年男子・成年女子・少年男子・少年女子
団体組手 少年団体・成年男子団体・成年女子団体
3. 選考方法 組手 各階級福岡県空手道大会個人戦優勝者及び準優勝者は出場する権利を有する。※但し準優勝者については全九州大会において好成績を期待する以上、過去 2 年間の大会実績等を考慮し決定する。
少年団体メンバーについては、個人戦優勝者及び準優勝者 2 名は出場する権利を有する。その他メンバーについては、全九州大会において好成績を期待する以上、過去 2 年間の大会実績等を考慮し決定する。
※成年男子団体・女子団体については全九州大会個人戦出場者とする。
形 福岡県空手道大会個人戦優勝者及び準優勝者
4. 選考委員 会長・副会長・理事長・強化委員会委員・審判委員会委員長
※選考委員より選手を選考し理事会の決議により正式に決定する。

2. 九州ブロック大会選手選考

1. 対象者 ① 当該年度の強化指定選手
② 上記①又は、各地区及び各会派から推薦された選手
2. 出場枠 各種目 1 名
形 成年男子・成年女子・少年男子・少年女子
3. 選考方法 形 福岡県空手道大会個人戦優勝者
4. 選考委員 会長・副会長・理事長・強化委員会委員・審判委員会委員長
※選考委員より選手を選考し理事会の決議により正式に決定する。

3. 国民体育大会出場者に係る選手選考

1. 対象者 ① 全九州選手権大会出場者
② 当該年度の強化指定選手
③ 福岡県大会出場者
2. 出場枠 各種目 1 名
組手 成年男子軽量級・成年男子中量級・成年男子重量級
成年女子・少年男子・少年女子
形 成年男子・成年女子・少年男子・少年女子
3. 選考方法 組手 ポイント制とし、福岡県空手道大会個人戦及び全九州選手権大会の優勝者へそれぞれ 1 ポイント付与。
全九州大会後、2 ポイントに満たない場合は、全九州大会出場者で選考会を行い、2 ポイントを有した者とする。
但し、レベルアップを図るため、選考委員より上記1の対象者を含めて選考会を行う場合がある。
※団体組手は国体出場で構成する。
形 九州ブロック大会の優勝者・準優勝者
4. 選考委員 会長・副会長・理事長・強化委員会委員・審判委員会委員長
※選考委員より選手を選考し理事会の決議により正式に決定する。

4. 全日本選手権大会出場者に係る選手選考

1. 対象者 ① 国民体育大会出場者
② 全九州選手権大会出場者
③ 当該年度の強化指定選手
※過去 2 年間に実績のある強化指定選手が、福岡県空手道大会個人戦に出場せず選考会に参加する場合、参加出来なかった旨を記した書類を選手が所属する責任者の署名のもと、理事長宛て事前に提出し理事会の決議より参加が認められた場合のみ参加できる。
2. 出場枠 各 1 名 団体組手（男子 5 名・女子 3 名）
組手 成年男子組手・成年女子組手・男子団体組手・女子団体組手
3. 選考方法 組手 階級を問わず、出場希望者の選手を強化委員長の指名によりランダムに對戦させ、内容等総合的に優れた選手を選考する。
4. 選考委員 会長・副会長・理事長・強化委員会委員・審判委員会委員長
※選考委員より選手を選考し理事会の決議により正式に決定する。

33 【 福岡県銃剣道連盟 】

項目	内 容
選考方法	試合時間5分、3本勝負で時間内に決着しない場合は判定による試合とする。
選考基準	1位、2位、3位を決定し、選手とする。
選考内容	1回戦は4名程度のリーグ戦を行い、2回戦以降はトーナメント戦を行う。
担当者名	水上 清則

34 【 福岡県なぎなた連盟 】

項目	内 容
選考方法	リーグ戦を行い、上位者から選ぶ。
選考基準	リーグ戦における上位者である。 強化練習に参加できる。
選考内容	演技競技においては、態度、正確度、熟練度において優れており、仕掛け応じを十分に行うことができる。
担当者名	矢野 陽子

35 【 福岡県ボウリング連盟 】

項目	内 容
選考方法	・2回の選考会を行い、計21ゲーム投球する
選考基準	・成年種別は、選考会の上位2名は確定 ・少年種別は、選考会の上位2名で決定
選考内容	・成年種別の残り2名については、過去の実績や貢献度等も加味し、選考委員会を経て決定する。
担当者名	山西 弘師

36 【 福岡県ゴルフ協会 】

項目	内 容
選考方法	予選会:18H×2日間 少年男子:茜 GC 4月13日・14日 成年男子・女子:門司 GC 4月18日・19日
選考基準	各種別とも予選会において上位8名を福岡県強化指定選手として選出する。
選考内容	各種別とも県強化指定選手8名による選考会をその後3回実施し上位3名を国体選手とする。
担当者名	大坪 渉

37 【 福岡県トライアスロン連合 】

項目	内 容
選考方法	6月4日開催の第38回天草国際トライアスロン大会エリートの部(九州ブロック選手権)において選考する。
選考基準	天草大会出場基準 JTU認定記録会(スイム400m・ラン3000m)での標準記録スイム・ランともに30級以上。 男子:スイム 05:30.05 ラン 11:08.44 女子:スイム 06:03.05 ラン 12:46.26
選考内容	福岡県選手内の上位より男女各2名。
担当者名	野口 隆平

38-1 【 福岡県スケート連盟(フィギュア) 】

項目	内 容
選考方法	世界大会、全日本出場選手を優遇 各種ブロック大会成績にて選考 最終的に決まらなかった場合には県大会にて最終選考
選考基準	少年:中学3年生以上、6級以上の県登録選手 成年:大学生以上、6級以上の県登録選手
選考内容	大会成績のみ ケガ等で出場できなかった場合は前年度の成績で選考
担当者名	近藤 瑛理

38-2 【 福岡県スケート連盟(スピード) 】

項目	内 容
選考方法	①第46回全日本選抜STSS選手権大会において、第38回全日本STSS選手権大会に選抜された選手を第一優先に選考する。 ②第66回福岡県県民体育大会冬季大会スケート競技会大会において、上位者より選考する。
選考基準	① ・上記大会出場選手が国体選考枠を超えた場合は、②大会出において上位者より選考する。 ・上記大会出場選手が国体選考枠を超えた場合は、上記大会出場選手以外を②大会において上位者より選考する。 ② ・500m及び1000mのレースをそれぞれ2本行う。 ・得点は、1位から始まり降順に1000, 800, 640……の順位点法を用い順位をつける。
選考内容	① ②の大会において上位者を選考する。 国体種目である500m及び1000mのレースに特化した選考を行う。

その他	上記以外の状況や特殊な事情が起こった場合は、福岡スケート連盟スピード部の選考委員で協議を行う。
担当者名	江口 雅之

39 【 福岡県アイスホッケー連盟 】

項目	内 容
選考方法	7月に県連登録チームより強化指定選手推薦を募り強化選手を決定、8月より強化選手を集め強化練習を実施。 10月末を目安に県連強化委員長を中心に強化委員にて代表選手を選考し決定する。
選考基準	県連主催競技会での結果・実績を基準にする。 また、強化指定選手による強化練習の内容(練習態度・姿勢・貢献度)を考慮する。
選考内容	九州ブロック予選にむけポジション毎に選考し 20名+予備登録 5名を選抜。 九ブロでの試合実績を考慮し代表選手を最大 16名選考する。
その他	ふるさと選手については所属チームでの経験・実績を考慮し選考する。
担当者名	長澤 誠治

40 【 福岡県スキーリーグ 】

項目	内 容
選考方法	福岡県 県民スポーツ大会にて選考致します。
選考基準	1、予選会の成績を踏まえ選考 2、予選会で上位でも、選手の滑りをみて選考する場合がある (初めて見る選手や参加人数が少ないクラスについて)
選考内容	令和6年1月5日～6日に国体予選会をおこないます。
担当者名	小川 穎隆